



2015 紀の国 わがやま国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆



Team Wakayama News

【第17号：平成26年7月23日発行】

箕島ホッケークラブ(男子)が準優勝！！ 和歌山ホッケークラブ(女子)がベスト8！

7月19日(土)から23日(水)に和歌山県で開催された2014年度全日本社会人ホッケー選手権大会(紀の国わかやま国体リハーサル大会)において、箕島ホッケークラブ(男子)が準優勝、和歌山ホッケークラブ(女子)がベスト8と大健闘しました。

男子の箕島ホッケークラブは、ナショナルメンバーの坂本博紀選手(県教育庁スポーツ課)と田中健太選手(県教育庁スポーツ課)を中心に、強豪チームに競り勝ち決勝戦に進出しましたが、宿敵名古屋フラートルに1-2で惜敗し、準優勝となりました。

女子の和歌山ホッケークラブは、日本4強といわれる実業団チームにはかなわなかったものの、ベスト8に入りました。

紀の国わかやま国体に向けての強化が少しずつ実を結んでいます。これからの和歌山県ホッケーチームの活躍が楽しみです。



準優勝と健闘した箕島ホッケークラブ(男子)



ベスト8の和歌山ホッケークラブ(女子)

【中尾年博監督(箕島ホッケークラブ(男子))】

今大会はチームワーク・ベンチワークともに充実しており、確実にチーム力は上がっています。決勝戦は残念な結果に終わりましたが、来月の近畿ブロック大会に向けてよい刺激を受けることができました。近畿ブロック大会は、暑さとの戦いになるので、大会前の合宿を利用し、暑さ対策を施し、長崎国体出場権を獲得したいと思います。

【谷口直哉主将(箕島ホッケークラブ(男子))】

決勝戦の前半は作戦通りでよい感じでしたが、後半は足が止まってしまいました。交代要員が少ない分、相手より不利でした。近畿ブロック大会に向けては、できる限り暑い中で練習し、暑さに耐える練習をする必要があります。

今年の近畿ブロックは負けられないと、選手一人一人が感じています。

【坂本博紀選手(箕島ホッケークラブ(男子))】

作戦通りでしたが、もう少し細かなパスを回すスタイルでないと勝てないと思います。近畿ブロック大会は、絶対に優勝し、長崎国体でも得点を獲得したいと思います。

【善行柄莉菜主将(和歌山ホッケークラブ(女子))】

決して走り負けはしていませんでした。個人の技術力の差を感じました。今後、得点のとれるチームを作っていけないと、ベスト4に入るのは難しいと感じました。



決勝戦で得点した田中健太選手(和歌山県教育庁)